

京王重機整備は新たなコーポレートロゴを導入します

創業 100 年を見据え、自社の「存在意義」と「大切にする価値観」を策定。新たに導入するコーポレートロゴにその想いを込め、次世代へとつなぐ。



京王グループの京王重機整備株式会社（本社：東京都渋谷区笹塚、代表取締役社長：梁瀬哲夫）は、2043年の創業 100 年を見据え、企業としてのありたい姿を明確にするため、「存在意義」と「大切にする価値観」を策定するとともに、新生 京王重機整備を象徴する、新たなコーポレートロゴを導入いたします。

今回の京王重機整備の社会における「存在意義」と「大切にする価値観」の策定と新たなコーポレートロゴの導入は、社会や暮らしを支える鉄道インフラの整備企業として、より高い安全性と品質を追求しながら、未来に向けた企業価値の向上を図ることを目的としています。社員一人ひとりが共通の理念を持ち、技術と想いを次世代へつないでいくことで、持続可能な社会の実現、豊かで快適で幸せな地域社会づくりに貢献してまいります。

京王重機整備の存在意義

静かな車両基地に灯るひとつの光
それは誰かのあしたを守るための約束

線路の先に広がる街並み
笑顔で通学する子どもたち
仕事に向かう人々
大切な人に会いに行く誰か

私たちの仕事は見えないけれど
その先で広がる人々の生活を支えている

私たちが整備する一両一両には
そのすべての想いがのっている

私たちはつなぎ続ける 今日の誰かのあんしんを
その未来につなぐために

線路を駆ける、車両に乗せて
次の街へ、次の人へ

**すべての人の
あんしんをつなぐ**

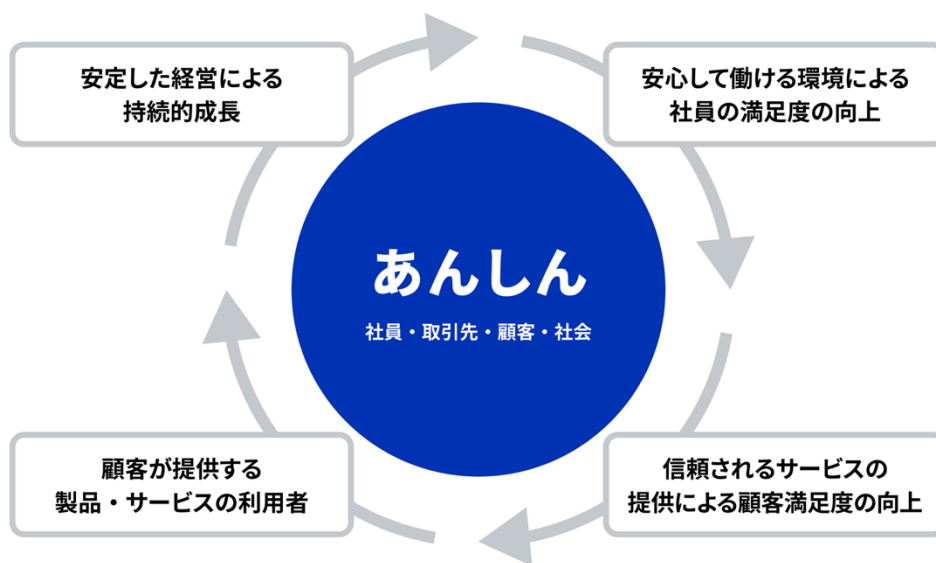


京王重機整備



鉄道は、人々の生活、地域、社会を結びつなぐ、重要なインフラです。

私たち京王重機整備株式会社は、鉄道整備・保守の現場を通じて、安全で安定した輸送を支え、人々の暮らしに「あんしん」を届け続けます。



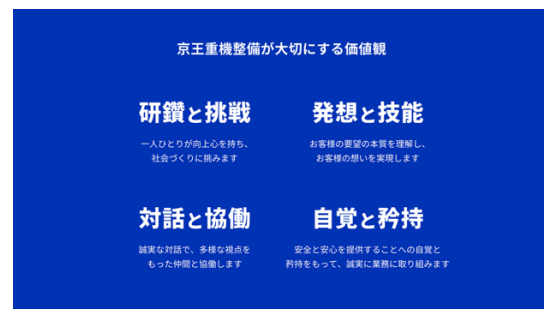
京王重機整備が届け続けてきた、“あんしん”という、あたりまえではない価値を見直し、業務を通して、“あんしん”を提供し、不安な人を減らすこと。その不安を減らす輪が、社員やその家族はもとより、顧客やサービス利用者に拡げることで、すべての人の“あんしん”をつなぎます。

京王重機整備が大切にしている価値観

「大切にしている価値観」は、「すべての人のあんしんをつなぐ」京王重機整備の、「存在意義」を実現することを目指す社員一人ひとりの行動に、具体的ななかたちを与えるものです。

京王重機整備の存在意義

**すべての人の
あんしんをつなぐ**



これまでも社員一人ひとりが大切にしてきた想いを振り返り、京王重機整備の「存在意義」を実現するための共通言語となり、受け継いでいくべき DNA として、京王重機整備が「大切にしている価値観」としてまとめました。

コーポレートロゴ



京王重機整備



新しいコーポレートロゴは、「すべての人のあんしんをつなぐ」京王重機整備の存在意義をコンセプトに、京王重機整備が提供する「あんしん」を通じて、人と街、くらしと未来を「つなぐ」企業としての姿勢を視覚的に表現するとともに、社員一人ひとりの技術力と責任感を象徴しています。

車両の連結器や握手を想起させる「J」を組み合わせ、精緻さと柔軟さを持ち合わせた形状と、どこまでもつながっていく空や海をイメージした深い青をコーポレートカラーとして採用しています。

デザイン

Sony Design Consulting

新しいコーポレートロゴは、ソニーデザインコンサルティング株式会社によってデザインされました。ソニーデザインコンサルティングは、ソニーグループのインハウスデザイン部

門として培ったデザインにまつわる知見と経験をもとに、数多くの企業のありたい姿、ビジョンの可視化を手がけてきました。京王重機整備の社員の想い、これまで培ってきた理念や社会への提供価値の言語化と可視化を通し、対話を重ね、京王重機整備の「存在意義」「大切にする価値観」策定のサポートと、これからの京王重機整備のシンボルとしてのコーポレートロゴのデザインをしていただきました。

京王重機整備のコーポレートロゴにこめた想い

2022年6月の代表取締役着任より、全社員との対話を重ねる中で、「創業100年にどうありたいか」を、将来を担う若手社員が議論をする「100プロジェクト」を立ち上げました。その過程で、私自身も「あんしん」の重み、「あんしん」を提供し続けることが如何に大切であるかを実感するとともに、まずは社員やその家族が「あんしん」できる環境もあわせて提供できる「ダントツ良い会社になる」イメージが鮮明になりました。また、これまでも社員一人ひとりが大切にしてきた想いを、受け継いでいくべきDNAとして「大切にする価値観」として共通言語とし、京王重機整備の「すべての人のあんしんをつなぐ」ことで、持続可能な社会の実現、豊かで快適で幸せな地域社会づくりに貢献できる会社になっていることを信じております。

京王重機整備株式会社
取締役会長 寺田 雄一郎

今後について

京王重機整備株式会社は、今年度、創業100年に向けた具体的な取組みを加速させる「Future 推進室」を新設、さらなる業容拡大を見据え、北野事業所、塩尻事業所の大規模改良の検討を進めております。

今後、京王重機整備の「存在意義」「大切にする価値観」のもと、新たなコーポレートロゴを旗印に、鉄道インフラを支える企業として、確かな技術と誠実な仕事を通して、社会の「あんしん」を未来へつないでまいります。

ロゴ使用開始日

2026年6月25日より順次使用を開始。

京王重機整備株式会社について

1943年10月に設立、京王グループの一員として、鉄道車両の保守・整備、改造・修理を中心に、車両部品の販売や整備機器の製作、特殊車両の製造などを手がけています。また、不動産賃貸事業も展開し、幅広い分野で事業を展開しています。長年にわたり培った技術力を基盤に、安全で高品質なサービスの提供を通じ、鉄道輸送の安定と社会インフラの発展に貢献しています。

会社概要

社名

京王重機整備株式会社

代表者

代表取締役社長 梁瀬 哲夫

設立

1943年10月6日

所在地

【本社】東京都渋谷区笹塚 1-47-1 メルクマール京王笹塚 4階

【若葉台工事業所・若葉台整備事業所】東京都稲城市若葉台 3-5-2

【北野事業所】東京都八王子市長沼町 1304-1

【塩尻事業所】長野県塩尻市大字広丘高出 1783

従業員数

281名（2026年4月末日現在）

コーポレート web サイト

<https://www.keiojuuki.co.jp/>

報道関係者のお問い合わせ先

京王重機整備株式会社 経営管理部

TEL 03-3466-1111